



福鍼会だより

発行 / 一般社団法人福島県鍼灸師会
(総務部長 小沼慎介&財務副部長 白井和弥)

2019年
9月3日

No. 140

第53回 東北鍼灸学会青森大会学術大会に参加してきました！



8月31日・9月1日の土日、青森県八戸市にある八戸グランドホテルにて第53回 東北鍼灸学会学術大会青森大会が開催されましたので参加してきました。福島県鍼灸師会からは9名の参加者がいました。

八戸ということで少しは涼しいかと期待して訪れましたが福島県と大差ない暑さで、小沼は最寄り駅から会場まで歩いたのですが汗

びっしょりになってしまいました。

今大会はこれまでの流れとは少し異なり、両日に特別講演がありました。東北6県の発表者は初日3名、2日目3名という形です。福島県鍼灸師会からは箱岩義郎保険副部長が『膝痛の解消のための膝の完全伸展へのアプローチ』と題し、口演されました。

※大会中は撮影が禁止されていたこと、青鍼会から画像データが届かないことから、箱岩先生および座長を務めた白井先生の雄姿をここに掲載することができません。残念です……。

箱岩先生の口演は他5県のいわゆる症例報告とは一線を画する内容でありました。大変勝手ながら発表内容を要約させていただきますと「日常診療で拝見する膝疾患は機能的疾患が多く、それによって発生する疼痛を無意識に回避する姿勢や動作をとることで更に悪循環となり、より一層の機能低下を招く。この悪循環を解消するためには立位時、歩行時の完全伸展が重要であり、そこへアプローチするためいかに鍼灸を活用していくかを紹介する」となります。

症例報告とは異なり、とても幅の広い内容ではありましたが、箱岩先生が日常診療の中で膝痛に対してどのように考え、どの段階でどこを意識して治療を進めていくのかが簡潔にまとめられていました。

聴講していた三瓶会長がこの内容に感激され、箱岩先生に打診し、来年の春季学術講習会で講演いただけることが決まりました。実技つきの豪華版になると思われますので、会員のみなさん、どうぞ楽しみにしててください。



発表順や内容が異なっていましたら、懇親会でも参加者に楽しんでもらえる企画がありました。

各県ごとにテーブルが準備されており、ランダムで数字の書いた紙が置いてありました。これはクジの番号になっていて（ハズレなし）全員に青森名産が当たるようになっていました。

みんな、当たるのは確実だと分かっているにもかかわらず自分の番号が呼ばれるまではソワソワして落ちて着きがありませんでした。写真は当選した安齋相談役とクジを引く係の三戸敦雄実行委員長です。

懇親会後はそれぞれが銘々に八戸市の夜を楽しみました。福島県鍼灸師会の面々は「みろく横丁」でいちご煮などの高級郷土料理に舌鼓をうちました。

翌日、総会を終えて特別講演 2 を聴講。『診療ガイドラインから見えてくる日本鍼灸の可能性と課題』と題し、森ノ宮医療大学大学院保健医療学研究科 森ノ宮医療大学鍼灸情報センターの山下仁先生がご講演されました。以下は白井財務副部長のご感想です。

今年 2019 年 5 月に「腰痛診療ガイドライン 2019」が発刊されました。その内容には鍼灸（代替療法）の推奨度は「なし」と位置付けされております。今年のトピックですのでご存じの方も多いでしょう。

山下仁先生らはガイドラインの「鍼治療は腰痛に効果なし」という結論に至る理由に誤りがあるとして、鍼治療に関する文献選択、データ抽出、データ入力などの間違いにより逆の結果を示している深刻な誤情報を詳しく講演されました。

鍼治療の効果、エビデンスの議論は薬理学的に不活性なプラセボ錠とは異なり、偽鍼が生理学的に活性で臨床的効果を有することをどう解釈するかが焦点であること。こちらでも丁寧に説明してくださりました。海外の研究では対照群として「刺入しない鍼治療」がなされており、刺入はせずとも実は皮下出血するくらい強い刺激を与えているなど、初めて耳にするような話も聞くことができました。

最前線で戦う鍼灸研究者へ、講演後の質疑応答では参加者が深く鋭い質問を次々と投げかけ、大変な盛会となりました。鍼灸の過小評価の原因に、製薬メーカーのような巨大市場をもたない、すなわち業界の規模ひいては政治力の影響が関与している可能性を示唆されておりました。

「鍼を捨てよ、学会へ出よう」山下仁先生は講演終わりの頃に、寺山修司作品「書を捨てよ、町へ出よう」をもじってユーモラスに呼びかけました。臨床（鍼）ばかりに専念せず、学会へ足を運び、最新の情報を得たり知見を広げて、多くの仲間と繋がることで業界を強く盛り上げていく力になる。そういう思いを込めた意味です。

学会の意義、鍼灸業界の将来を改めて考えさせられた、山下仁先生の講演は大変素晴らしく印象に焼き付きました。

来年は岩手県盛岡市にて第 54 回東北鍼灸学会岩手大会が開催されます。日時・場所ともに未定です。この 2 年後には福島県開催となります。実際に目で見て感じておきましょう！